

労災防止の早期発見と未然防止に AI カメラはどう使えるか？「6つの具体例」

この資料では、労災防止の早期発見や未然防止において、AI カメラをどのように活用するのか、その具体例を6つご紹介している資料です。御社の現場でも活用できないか、ヒントにご活用ください。

[申し込みする>>](#)

例 2：巻き込み災害の未然防止

工場内では、さまざまな生産設備が稼働しています。そういった設備の周辺に人が立ち入った場合、設備に巻き込まれたり、挟まれたりする労働災害が発生します。そういった場所に、AIカメラを設置することで、下記のような労働災害への対応が実現します。

1. 設備近隣の危険エリアに人が立ち入った瞬間に、アラートを発報し、回転灯などで本人に警告し、巻き込み災害を未然防止する。設備稼働時に近くに人がいることが付かず、巻き込まれてしまったことも防げる。



主な目次

1. どんな AI カメラで労災防止を支援するのか？ AI カメラの概要・詳細について
 - (ア) AI カメラによる危険行動の検知自動化について
 - (イ) AI カメラによる危険エリアへの侵入検知について
2. 労災防止の未然防止 AI カメラの6つの活用例
 - (ア) 例 1：転倒災害の早期発見・未然防止
 - (イ) 例 2：巻き込み災害の未然防止
 - (ウ) 例 3：熱中症の早期発見・未然防止
 - (エ) 例 4：転落の早期発見・未然防止
 - (オ) 例 5：感電事故の未然防止
 - (カ) 例 6：積荷落下事故の未然防止

[申し込みする>>](#)